



「新たな障害者サービス」を開始しました。

～ 図書館利用に障害のある方へのサービス ～

著作権法の改正にともない、学習障害などで活字を集中して読むことができない方などにも、デジタイズ録音図書等〔デジタイズ録音図書(CD版)、カセット録音図書、マルチメディアデジタイズ図書等〕を提供できるようになりました。当館でもデジタイズ録音図書等を受入し、今後も増やしていく予定です。また、県立図書館の対面音訳サービスが、南国市立図書館でも利用できるようになりました。

新たなサービス



* デジタイズ録音図書等の貸出

利用できる方：視覚により認識する図書をそのまま利用することが困難な方

貸出期間：10点以内、1ヶ月以内

その他：デジタイズ録音図書の再生機器の貸出サービス、宅配貸出サービスを併せて

利用することができます。(利用条件がありますので、詳しくはお問合せください。)

* サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館利用のサービス

インターネットを利用できる方は、利用登録後サピエ個人会員に申し込むことで、自宅のパソコンにダウンロードし利用することができます。

「サピエ」は視覚障害者や視覚による認識に障害のある方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワークです。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っています。

※ 資料の検索のみでしたら、会員にならなくてもできますので、ぜひご覧ください。

URL: <https://www.sapie.or.jp/>

* 対面音訳サービス

利用者が希望する図書などを聞き手(利用者)と読み手(音訳者)が対面で音訳するサービスです。南国市立図書館でも利用できるようになりました。

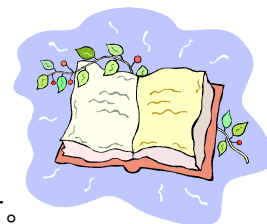
問合せ先: 当館 TEL:088-872-6307

* * * 話題 * * * 66年ぶりに・・・

テレビや新聞で報道されましたが、戦前に貸し出された当館所蔵の歴史書、『維新土佐勤王史』が66年の時を超え、返却されました。

この資料は、田中光顕(1843～1939)が晩年、直筆の署名を入れて当館へ寄贈されたもので、戦前に貸出されていました。当館が高知大空襲で全焼し、返せなくなっていたそうですが、今回、利用者のご家族の方が蔵書を整理していて見つけ、返却して下さいました。

この資料は、貴重書庫に保管することになりましたが、ご希望の方は閲覧可能です。閲覧の手続き等は必要ですが、興味のある方はぜひお越し下さい。



平成 23 年度第 39 回高知県図書館大会 開催されました！！

2011年10月10日(月)、高知大学朝倉キャンパスにおきまして、第39回高知県図書館大会が、13時より開催されました。

第1部、基調講演「いつの間にか日本一」(滋賀県愛荘町立図書館 館長 西河内靖泰氏)と活動報告「笑顔0円からのスタート」(本山町立本山さくら図書室 田岡望美氏)があり、第2部では、3グループに分かれてグループトークが行われました。



(西河内 靖泰 氏)



(田岡 望美 氏)



(グループトーク A)



(グループトーク B)



(グループトーク C)

2 階フロア (成人室) の配置場所が変わりました。

⇒ マイクロリーダー

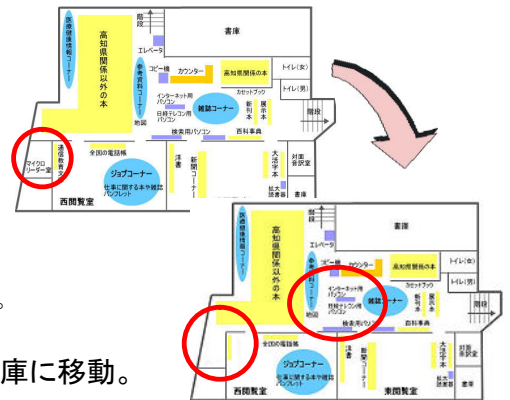
マイクロ室(2F)から2Fカウンター前(利用者用インターネット端末の東左隣)へ移動しました。マイクロ室のあった場所は、扉をはずし新たなスペースを設けて、書架へと生まれ変わりました。

⇒ 郷土資料

文学(9類)全ての貸出用の資料が、郷土コーナーから一般書架へ。

⇒ 通教文庫(中央大学のみ)

ジョブコーナーから一般書架へ。近畿・法政大学の通教文庫は書庫に移動。



* * * “ 緊急地震速報機 ” を設置しました * * *

緊急地震速報機は、気象庁が発信する情報を、地元FMラジオ局が受信し発信したものを、この機器が感知し、高知県内で最大震度5弱以上の揺れが予想される場合に音声で地震情報をお知らせします。

こども室、2階閲覧室、カウンター、書架の間、書庫、事務室など、合計10台設置しました。

